

令和8年度 第1回 佐久間中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年4月9日(木) 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 守下 武志、奥山 和子、向坂 美保、月花 明生、村田 しのぶ、
澤村 晃央
- 4 欠席委員 片倉 美咲
- 5 オブザーバー 笹野 訓子(前・運営協議会 委員)、長谷川陽子(佐久間図書館)、
- 6 学 校 廣岡 誠司(校長)、鈴木 政晴(教頭)、森下 奏恵(教務主任)
- 7 傍 聴 者 0人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 新聞千代子
- 9 委員任命書交付、自己紹介、浜松市学校運営協議会規則の確認
- 10 会長の選出、副会長の指名
守下武志氏を会長に推薦する発言があり、満場一致で守下氏を会長に推挙、本人もこれを受諾した。また、守下氏から奥山和子氏を副会長に指名する発言があり、本人もこれを受諾した。
- 11 議長の選出
司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 12 会議記録
委員総数7名のうち6名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
- 13 前回会議、令和7年度協議会自己評価の確認
- 14 熟 議
(1) 学校運営の基本方針について(校長)
校長より、佐久間中学校グランドデザインについて説明があった。(資料参照)
 - ・ 前年度と比べ、変わっているところを説明いただきたい。(守下会長)
→目指す学校像について、『なりたい自分』と『安全で安心』の順番を入れ替えた。
本校の場合、スクールバス登校に変わったため雨などに伴う土砂崩れや道路状況によって通学が不安定になるといった課題がある。まずは生徒が安全に登校できることを最優先に考えた。またいじめなどのことも考慮し、安全で安心を第一とした。(校長・教頭)
→『なりたい自分』について中高交流を通じて「近い将来の自分」をより具体的にイメージできるようにした。(校長・教頭)
→生徒の主体性を尊重しながらも、教師が“導く”場面と“委ねる”場面を使い分け、昨年度の課題としてあがった「学力の定着を図る」ための学習指導の改善策を盛り込んだ。
(校長・教頭)

- ・ 大変わかりやすい言葉に変更されたと思う。(笹野オブザーバー)
- ・ 佐久間、浦川、山香、城西のそれぞれの地域性や事情が違ったりする地区の統合ではいろいろなトラブルに対応しなければならない。佐久間中学は「安全で安心な」の苦労が多いと思う。(月花委員)
- ・ “導く”と“委ねる”は永遠の課題だと思う。生徒の主体性を育むことは夢だが、生徒が好きなことだけやって苦手なことはやらないといったことが起こる。このバランスは難しいが、挙げていただいたことは大切だと思う。また中高一貫で自分のことが少しずつ分かってくと「なりたい自分も」も見えてくる。このグランドデザインで令和8年度は頑張っていきましょう。(守下会長)

◎ 委員全員の承認を得た。

(2) 本校の学校運営上の課題について

【休日部活動の地域展開(校長)】

校長より別途資料により説明があった。

- ・ 9月からスタートができるのだろうか。(守下会長)
→佐久間中学校は早期から動いて検討し準備してきたので9月開始可能だと思うが、やってみなければわからないということもある。(笹野オブザーバー)
- ・ 学校での平日の部活動は残るのか。(守下会長)
→平日は残ります。(教頭)
- ・ 土日に関しては一般の方や小学生も参加するといった内容で、従来のような大会に勝つことが目的の部活ではないですね。(奥山委員)
→地域の指導者と教員の指導のもとで行うことは生徒の反応も様々で、運営の難しさが想像できる。指導者、生徒、一般の方がどんなイメージを持って参加するのか、まだ準備期間があるので検討していく必要がある。(守下会長)
- ・ 人数や部活の種類も限られているので、個人的に伸びる生徒もいるかもしれないし、大規模校と比べ小規模校ならではの良さを生かせるとよいと思う。(笹野オブザーバー)
- ・ 地域の指導者が負担に感じる場合もあり得るので、その点のフォローも必要。(守下会長)
- ・ 地域の指導者と教員との間で練習内容等も密に連絡を行い考えながら進めていかなければならないと考える。(澤村委員)
- ・ 土日に試合がある場合はどうなるか。(月花委員)
→引率等については未定だが、今後地域クラブの指導者が引率することになるのではないか。(澤村委員)
- ・ 教員がいなくなってクラブの指導者だけになってしまうと、不安になってしまう。(村田委員)

- ・ 事故があった場合や保険の問題など詰めていく必要がある。(守下会長)
→地域の指導者と生徒、保護者とのコミュニケーションを図っていきたい。(澤村委員)
- 地域クラブの運営委員会を学校運営委員会後に行い検討を重ねていく。みなさんに随時報告する。(教頭)
- ・ 今後、課題を1つずつ解決しながら進めていきましょう。(守下会長)

【業務量管理・健康確保措置(校長)】

校長より、別途資料に基づき説明があった。

- ・ 学校以外で担うべきことをこれからだんだんと考えていく。過疎の地域で人材がいない中、無理のない範囲で行いたい。(守下会長)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭より別途資料に基づき説明があった。

- ・ 交通手段がない地域なので、子供たちが有意義に使ってもらえるお金であれば価値がある。(笹野委員)
- ・ 計画的にスケジュールを組んで貸し切りタクシーを使いこなしている。予定の立て方も上達したのではないか。(向坂委員)

◎委員全員の承認を得た。

15 連絡

- ・ 授業参観可能な年間行事予定
- ・ 次回は、6月9日(火)14:20～地域学校協働活動(課題探究活動への助言の会)への参加後、佐久間中学校会議室にて開催予定。